

教 科	科 目	単 位 数	小学科・学年
理 科	科学と人間生活	2 単 位	全 科・1年
教科書	科学と人間生活（実教出版）		
学習目標	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを見通しをもって行うことなど通して理解し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		

評 価 の 規 準 ・ 観 点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度が養われている。 自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。
・定期考査 ・小テスト、単元テスト	・定期考査 ・小テスト、単元テスト	・プリント、ノート、レポート ・観察・実験への取組 ・授業態度 ・補助教材 ・自己評価、ふりかえり
評価の方法	授業における関心、態度、意欲、出席状況、実験・観察への取組、課題の提出、レポート、小テスト、単元テスト、定期考査などを上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学 習 の 内 容 (特色を含む)			
月		月	
4	1章 科学技術の発展 1節 科学と技術の始まり 2節 海	10	2節 微生物とその利用 4章 光や熱の科学 1節 熱の性質とその利用
5	3節 土	11	
6	2章 物質の科学 1節 材料とその再利用 2節 食品と衣料	12	第2期考査
7	第1期考査	1	2節 光の性質とその利用 5章 宇宙や地球の科学 1節 太陽と地球 2節 身近な自然景観と自然災害
9	3章 生命の科学 1節 ヒトの生命現象	2	第3期考査
		3	6章 これからの科学と人間生活
担当者からのメッセージ及び特色			
<p>理科には物理、化学、生物、地学の4分野があります。それぞれの分野と私たちの生活とのかかわり、科学技術の進歩が私たちの生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解しましょう。</p> <p>また、授業内容を普段の生活と関連付けましょう。普段疑問に感じていることの答えが見つかるかもしれません。</p> <p>小テストやレポートの評価は、定期考査と同じくらいの重さがあります。日々の学びをおろそかにしてはいけません。</p> <p>家庭での学習習慣も身に付けましょう。</p>			